

## ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2010年6月13日現在

**概況** ワシントン州東部の6月13日に終る1週間の気象概況は、3週続きの Cool & Wet の気象となった。EC 地区では週の初めに降雨があり、Palouse 地方では週を通して驟雨が あった。EC 地区の最高気温は Ritzville にて 77 度 F と低かったが、他の観測所では 86 ~ 87 度 F となった。最低気温が 42 ~ 47 度 F と例年より低く、平均気温は平年を 2 ~ 4 度 F 下 回った。Palouse 地区の最高気温は 81 ~ 90 度 F まで上がったが、平均気温は平年を 2 ~ 4 度 F 下回った。1 週間の降水量は EC 地区にて 0.40 ~ 0.45 インチ(シーズン積算雨量は 8.15 ~ 13.33 インチで平年の 127 ~ 154%)、Palouse 地方の降水量は 0.27 ~ 0.36 インチであつ た。シーズン積算降水量は平年の 86 ~ 99% であるが、春先からの雨量は平年以上であった。1 週間の州平均農作業稼働日数は 4.1 日(前週: 3.3 日)であった。Topsoil の土壌水分は、 “ Surplus ” が更に増え、“ Short ” が減少し、Subsoil の水分は “ Adequate ” が 79% となり、 5 年平均より良い状態となった。冬小麦は 64% が出穂したが生殖成長は例年より遅れていた。降雨と低温で stripe rust (ムギ黄さび病) が発生しているが、小麦が生殖成長となつ た圃場の農家は薬剤散布を控えていた。春小麦は 100% が節間生長期、10% が出穂した。 出穂は昨年並びに 5 年平均より遅れていた。Walla Walla 郡の冬小麦には stripe rust が 広がっている。春小麦の生育は例年より遅れているが作柄は良好と報告された。Whitman 郡の冬小麦にも rust が蔓延しており、小麦が出穂直前の圃場には薬剤散布が実施された。 冬小麦及び春小麦の全体的な作柄は前週より改善した。

### 土壌水分及び灌漑用状況(\*)

( % )		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	0	5	56	39
	Last week	0	6	58	36
	5-Yr Ave.	4	21	71	4
Subsoil	This week	4	14	79	3
	Last week	4	22	71	3
	5-Yr Ave.	8	29	61	1
Irrigation	This week	0	6	92	2
	Last week	0	5	92	3
	5-Yr Ave.	2	3	93	2

### 冬小麦の生育状況(\*)

( % )	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Headed	64	53	77	83

### 冬小麦の作柄状況(\*)

( % )	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	1	11	68	20
Last week	5	7	12	56	20

### 春小麦の生育状況(\*)

( % )	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Emerged	100	99	100	100
Headed	10	5	27	37

### 春小麦の作柄状況(\*)

( % )	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	0	20	57	23
Last week	0	2	19	66	13

(\*) Source: National Agricultural Statistic Service, Washington-Field Office, USDA. 5-Yr Ave means average of past 5 years 2005,2006,2007,2008 and 2009 Crop year.

以上

ご質問又はご意見は、OMIC USA Inc.小川正晃 [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)までお願い致します。

© Copyright 2002-2009 OMIC USA Inc. All rights reserved.